

あかあ!

かたみなぎ 466
図面を確認するのにタブレットを使うのだが…
おっ！
ちよっと
つつい
若者に頼って…

この時はこうして…こんな感じ
なるほど！

このタブレットフリーゲームが入っている
ああ…そうなの？

チューン
チャンネル
これがボスの倒し方です
それは聞いてない！



左から店長さん、店員さん、遠藤さん

エッコエッコ入谷店

日比谷線 入谷駅 徒歩3分

【台東・塗装・遠藤知子記】
2009年に上野駅からすぐ近くの昭和通りの沿いに来たエッコエッコ上野店。オープンしたての上野店に初めてママ友とランチに行きました。

小さな子供連れや家族でも楽しめるような雰囲気の良いお店です。

4年後には入谷駅横の言問通り沿いに入谷店がオープン。台東支部から5分くらい

私の行きつけ

新・赤さよごうさん



で、組合に行った帰りとかがよく利用しています。夜の貸し切り(15人以上)で拡大の打ち上げ、忘年会、暑気払い等、その度にごちそうのおいしさに満足して帰ります。

どの料理も美味しい ランチメニューは4コース

【営業時間】11時～15時(ランチ) / 17時～22時半
【定休日】土・日・祝 / パーティー等の予約には対応可
台東区北上野2-32-8
☎03-5830-3352

【ランチメニュー】(税込)
A 生パスタミニサラダ+ガリックトースト or トーストアイス 1100円
B 生パスタミニサラダ+ガリックトースト or トーストアイス 970円
C 生パスタミニサラダ+ガリックトースト 900円
S 生パスタミニサラダ+サラダ+ケーキ1250円※全セット、ドリンク(1回おかわり)付き
【営業時間】11時～15時(ランチ) / 17時～22時半
【定休日】土・日・祝 / パーティー等の予約には対応可
台東区北上野2-32-8
☎03-5830-3352

詰将棋

6	5	4	3	2	1
		銀	王	飛	歩
		馬	王	飛	歩
		馬	王	飛	歩
		馬	王	飛	歩
		馬	王	飛	歩

私が中学校に入学した1972年、当時暮らしていた京都府は1950年から続く川虎三氏による革新新政が続いていました。時はベトナム戦争の真っ最中、京都の中学生は入学するとまず「民青同盟」の勧誘を受けます。物心



設計 小阪昌義
年上から刺激受け
背伸びをしてたあの頃

忘れえぬこと

若気の至り
マハトマ・カンディーは非暴力・不従従でインド独立運動を指導、イギリスの植民地からパキスタンと国を2つに分ける形で独立を果たした立役者だ。
そんな聖人のごときカンディーだが、小学校時代の素行は悪かったようだ。悪

チヨット一服(1083)
電車が、最近複雑してきたように思う。コロナ禍の特別な3年間が終わり、リモートワークが見直されつつあることも要因の一つか。人が多すぎる車内は快適性が失われるのはもちろん、いらぬトラブル、電車の遅延にもつながる。あまりいいことはない。

私が中学校に入学した1972年、当時暮らしていた京都府は1950年から続く川虎三氏による革新新政が続いていました。時はベトナム戦争の真っ最中、京都の中学生は入学するとまず「民青同盟」の勧誘を受けます。物心

設計 小阪昌義
年上から刺激受け
背伸びをしてたあの頃

ついたところから革新政党が与党だったので、日本全体もそうなのだろうと疑いませんでした。13歳の子供がいろんな勉強会や集会に参加して、高校・大学のお兄さん達から日々刺激を受けていきました。

い友人にそのかきされて、ヒンドゥー教では禁じられていた肉食を繰り返していった。また、たばこにも手を出し、たばこ代を工面するために召使に金を盗ませることもあったという。

文化庁がこの春から京都に移転した。地方創生事業の一環だという。人口分散という意味で、公的機関が拠点を移すことはそれなりのインパクトがある。建設に馴染みの深い関東地方整備局もさいたま新都心にある。勤める役人は「都落ちした」と思うのだろうか。価値観の多様化と共に、快適な車内の実現を。

そんな中で、私は主に裏方の仕事を担当させられていました。その主な仕事は「看板書き」。いろんな集会などの立て看板を書いていました。この「立て看板」は、いわゆる「ゲバ文字」と言って党派やグループによってすべて

その後、高校入学と同時に、多くの活動家は政治活動から卒業して、普通の高校生に戻ります。ベトナム戦争も終わり、京都府は1978年に保守府政になり、街全体に漂っていた革新的な空気は一気に感じられなくなりました。

その後、高校入学と同時に、多くの活動家は政治活動から卒業して、普通の高校生に戻ります。ベトナム戦争も終わり、京都府は1978年に保守府政になり、街全体に漂っていた革新的な空気は一気に感じられなくなりました。

けんせつ 時評

1966年に味噌会社の専務一家を殺害したとして逮捕された袴田巖さん。証拠とされた犯行着衣が捜査機関による捏造(ねつぞう)の疑いが極めて高いとして2014年、48年ぶりに釈放された。再審が決定したのはさらに9年後の今年3月、逮捕から57年も経ってからのことだった。

モーリタニア 黒塗りの記録

監督 ケビン・マクドナルド
恐るべき陰謀に隠された真実とは

モーリタニア人の青年ハメドゥは、裁判すら受けられずに拷問と虐待が横行するキューバのクアンタナモ軍基地で地獄のような投獄生活を送っていた。彼の弁護を引き受けることになった弁護士ナンシー・ホルンダーとテリー・ダンカンは、真相を明らかにしようと調査に乗り出す。政府の様々な妨害や、「テロ事件の犯人をかばい立てしやがって」という世間からの誹謗中傷に遭いながらも、正義を追求していくうちに恐るべき陰謀によって隠された真実が浮かび上がる。

モーリタニア 黒塗りの記録

監督 ケビン・マクドナルド